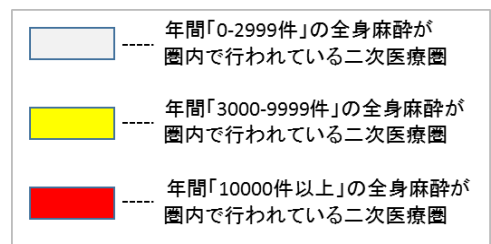
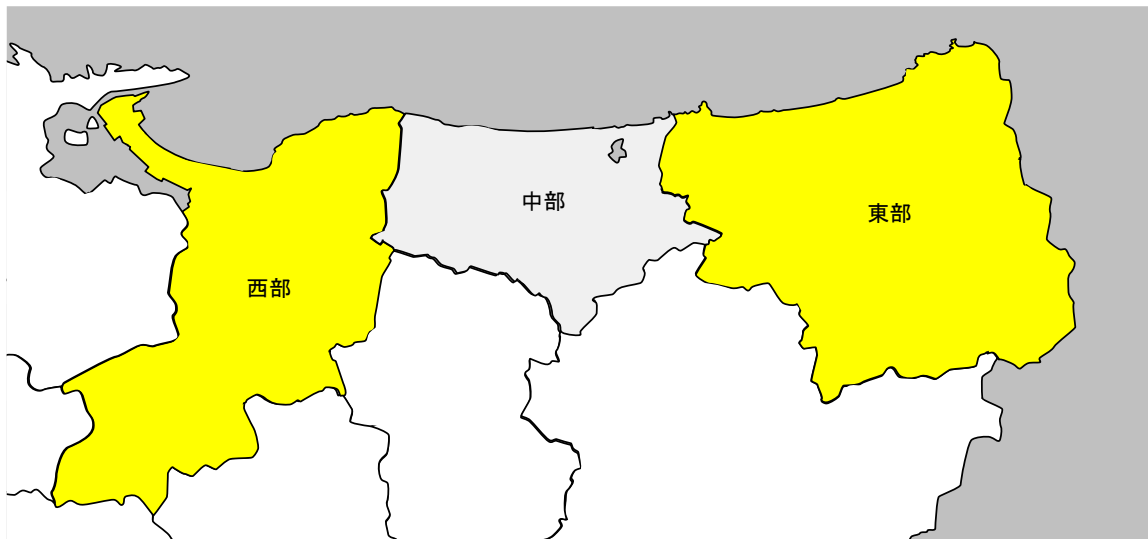


# 31. 鳥取県



目次

鳥取県	31	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	31	-	7
1. 東部医療圏	31	-	19
2. 中部医療圏	31	-	23
3. 西部医療圏	31	-	27

# 31. 鳥取県

## (鳥取県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 鳥取県は、総人口約553千人(2020年)、面積3,507km<sup>2</sup>、人口密度は158人/km<sup>2</sup>である。
- \*人口の将来予測： 鳥取県の総人口は2030年に516千人へと減少し(2020年比-7%)、2045年に449千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の93千人が、2030年にかけて113千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には105千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 鳥取県の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値57)、介護給付費は302千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数54、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。
- \*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 鳥取県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,774人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,601床(偏差値61)、高齢者住宅等が4,173床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,092人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設73、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設48、介護医療院55、有料老人ホーム40、軽費ホーム57、グループホーム56、サ高住61である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、826人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## 2. 推移

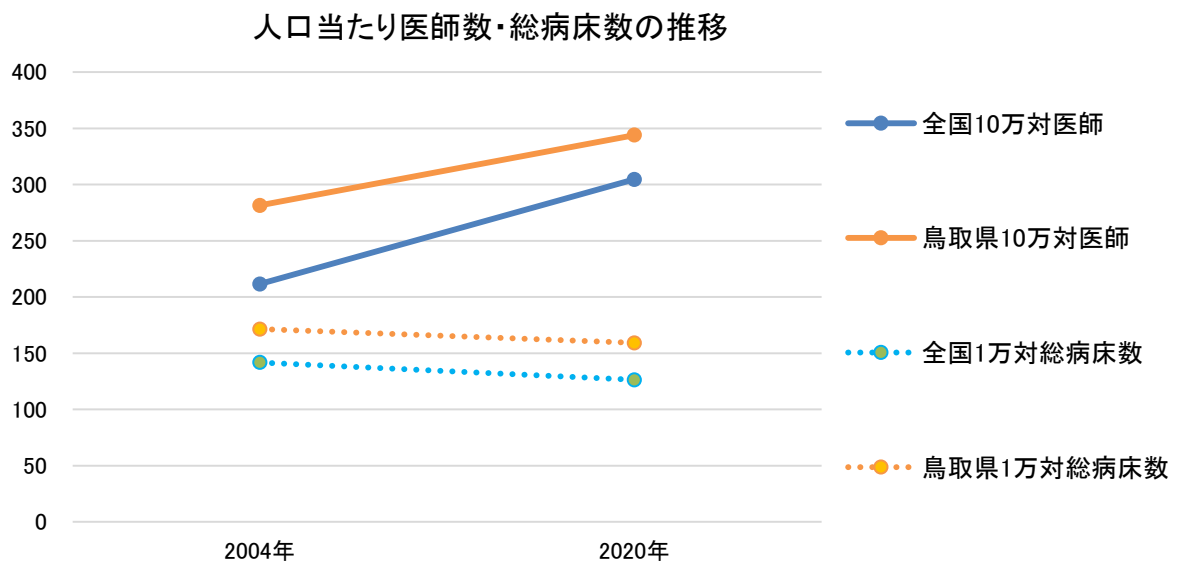
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は46(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2020年に43(人口10万人当たり7.8病院(全国平均6.5)偏差値53)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は553(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2020年に490(人口10万人当たり89診療所(全国平均81)偏差値54)と、63診療所が減少した。

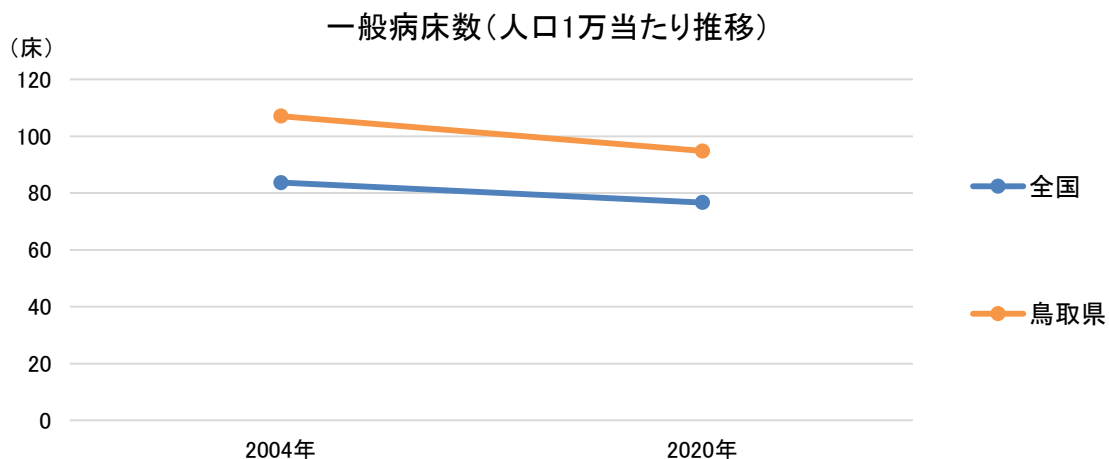
2004年の総病床数は10,410床(人口1万人当たり171(全国平均142)偏差値55)であったが、2020年に8,811床(人口1万人当たり159(全国平均126)偏差値56)と、1,599床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,709人(人口10万人当たり282人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2020年に1,904人(人口10万人当たり344人(全国平均305人)偏差値54)と、195人の増加、率にして11%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



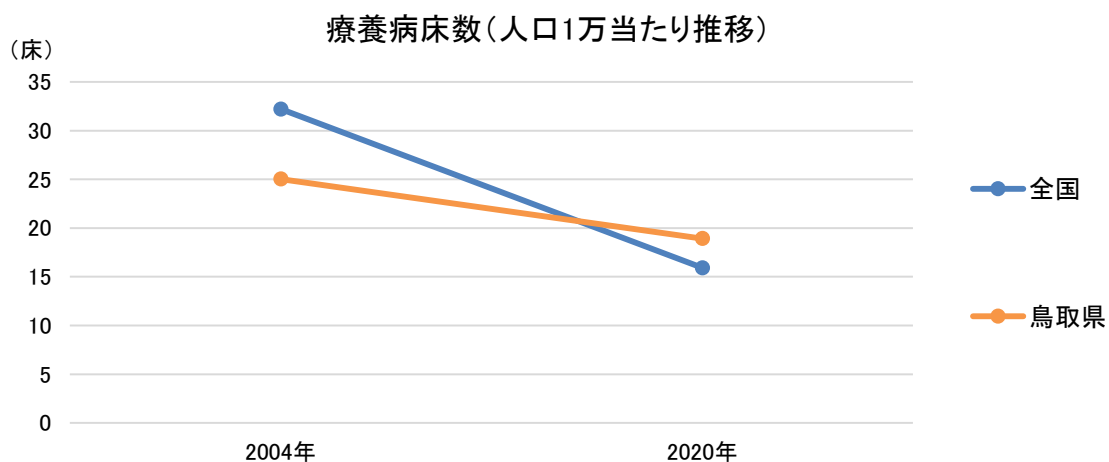
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は6,500床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2020年に5,248床(人口1万人当たり95(全国平均77)偏差値57)と、1,252床の減少、率にして19%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,879床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に1,761床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均16)偏差値53)と、118床の減少、率にして6%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 31-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
鳥取県	553	47位	3,507	41位	157.8		32%
東部	224	41%	1,518	43%	147.9	地方都市型	31%
中部	99	18%	780	22%	127.1	過疎地域型	35%
西部	230	42%	1,208	34%	190.1	地方都市型	32%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資\_図表 31-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
鳥取県	553	516	449	93	113	105	-7%	-13%	22%	-7%
東部	224	207	177	36	44	42	-8%	-14%	22%	-5%
中部	99	89	74	18	22	19	-10%	-17%	22%	-14%
西部	230	220	198	39	47	43	-4%	-10%	21%	-9%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

資\_図表 31-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)	
鳥取県	404	57	1.031	176	59	1.141	202	52	0.963	302	62	
東部	398	56	1.010	179	60	1.149	191	45	0.904	301	62	
中部	395	55	1.002	176	59	1.134	197	49	0.931	299	61	
西部	414	59	1.048	173	58	1.112	216	59	1.018	303	62	
出典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。											

31.鳥取県(2022年版)

資\_図表 31-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	医療費	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	医療費	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	医療費	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
鳥取県	923	49	0.967	510	53	1.032	385	39	0.908
東部	902	47	0.936	505	53	1.010	366	34	0.854
中部	940	50	0.987	551	57	1.106	368	34	0.878
西部	933	50	0.979	494	52	1.003	410	46	0.966
出典	＜一人あたり後期高齢者医療費＞令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 31-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
鳥取県	43	0.5%	7.8	53	490	0.5%	89	54
東部	14	33%	6.2	49	184	38%	82	50
中部	10	23%	10.1	59	81	17%	82	50
西部	19	44%	8.3	54	225	46%	98	59
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 31-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
鳥取県	490	0.5%	89	54	453	0.5%	82	53	37	0.6%	6.7	53
東部	184	38%	82	50	173	38%	77	50	11	30%	4.9	50
中部	81	17%	82	50	75	17%	76	50	6	16%	6.0	52
西部	225	46%	98	59	205	45%	89	57	20	54%	8.7	57
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			



資\_図表 31-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
鳥取県	8,372	0.6%	1,513	57	439	0.5%	79	51	8,811	0.6%	1,592	56
東部	3,349	40%	1,492	56	146	33%	65	50	3,495	40%	1,557	55
中部	1,490	18%	1,502	56	58	13%	58	49	1,548	18%	1,561	56
西部	3,533	42%	1,538	57	235	54%	102	54	3,768	43%	1,640	57
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 31-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
鳥取県	4,827	0.5%	872	57	1,743	0.6%	315	55	1,774	0.5%	321	53
東部	1,950	40%	869	57	646	37%	288	53	739	42%	329	53
中部	893	19%	900	59	315	18%	318	55	278	16%	280	51
西部	1,984	41%	864	57	782	45%	340	56	757	43%	330	53
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 31-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ				地域包括ケア			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69	(53)	74,859		59	(78)
鳥取県	642	0.7%	116	59	762	1.0%	138	60
東部	220	34%	98	55	224	29%	100	55
中部	148	23%	149	65	253	33%	255	75
西部	274	43%	119	59	285	37%	124	58
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

31.鳥取県(2022年版)

資\_図表 31-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26)	5.1%	(23)
鳥取県	4,226	3,647	217	4,042	1,180	1,509	75.6%	62	12.6%	53
東部	1,916	1,610	97	1,416	340	532	82.6%	65	15.4%	54
中部	304	300	0	1,158	593	315	33.6%	46	0.0%	48
西部	2,006	1,737	120	1,468	247	662	87.6%	66	15.3%	54
出典	地方厚生局指定一覽令和4年4月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県／市区町村／日本赤十字社／済生会／独立行政法人地域医療機能推進機構／地方独立行政法人／独立行政法人国立病院機構／国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覽掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

資\_図表 31-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,315,172		1,835	(812)	839,196		665	(271)
鳥取県	13,598	0.6%	2,457	58	4,176	0.5%	755	53
東部	4,873	36%	2,171	54	1,860	45%	829	56
中部	1,734	13%	1,748	49	768	18%	774	54
西部	6,991	51%	3,043	65	1,548	37%	674	50
出典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資\_図表 31-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	384,332		305	(99)	243,064		193	(76)	141,268		112	(34)
鳥取県	1,904	0.5%	344	54	1,253	0.5%	226	54	651	0.5%	118	52
東部	609	32%	271	47	378	30%	169	47	230	35%	103	47
中部	272	14%	274	47	173	14%	175	48	99	15%	100	46
西部	1,023	54%	445	64	701	56%	305	65	322	49%	140	58
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 31-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
鳥取県	184	0.6%	33.2	56	99	0.7%	17.9	64	63	0.5%	11.4	55
東部	65	35%	29.0	52	25	25%	11.1	50	15	24%	6.7	44
中部	9	5%	9.1	36	8	8%	8.1	44	10	16%	10.1	52
西部	110	60%	47.9	67	66	67%	28.7	86	38	60%	16.5	67
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 31-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
鳥取県	31	0.5%	5.6	54	50	0.5%	9.0	54	38	0.5%	6.9	53
東部	8	26%	3.6	45	10	20%	4.5	39	11	29%	4.9	46
中部	3	10%	3.0	43	6	12%	6.0	44	3	8%	3.0	39
西部	20	65%	8.7	67	34	68%	14.8	73	24	63%	10.4	67
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 31-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
鳥取県	44	0.4%	8.0	50	116	0.5%	21.0	55	95	0.5%	17.2	57
東部	15	34%	6.7	47	32	28%	14.3	45	27	28%	12.0	46
中部	5	11%	5.0	42	19	16%	19.2	52	15	16%	15.1	53
西部	24	55%	10.4	57	65	56%	28.3	65	53	56%	23.1	69
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

31.鳥取県(2022年版)

資\_図表 31-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		5.0	(2.2)			5.7	(2.5)			5.1	(3.3)	
鳥取県	29	0.5%	5.2	51	30	0.4%	5.4	49	32	0.5%	5.8	52
東部	11	38%	4.9	50	8	27%	3.6	42	9	28%	4.0	47
中部	4	14%	4.0	46	6	20%	6.0	52	1	3%	1.0	38
西部	14	48%	6.1	55	16	53%	7.0	55	22	69%	9.6	64
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 31-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.3	(3.5)			1.4	(1.0)			3.7	(2.3)	
鳥取県	41	0.5%	7.4	53	10	0.5%	1.8	54	15	0.3%	2.7	46
東部	11	27%	4.9	46	6	60%	2.7	62	5	33%	2.2	43
中部	1	2%	1.0	35	0	0%	0	36	1	7%	1.0	38
西部	29	71%	12.6	68	4	40%	1.7	53	9	60%	3.9	51
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資\_図表 31-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数				リハビリテーション科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		1.9	(1.4)			2.3	(1.6)	
鳥取県	5	0.2%	0.9	43	18	0.6%	3.3	56
東部	2	40%	0.9	43	7	39%	3.1	55
中部	0	0%	0	37	1	6%	1.0	42
西部	3	60%	1.3	46	10	56%	4.4	63
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資\_図表 31-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
鳥取県	7,152	0.6%	1,292	63	5,687	0.6%	1,028	63	1,465	0.6%	265	59
東部	2,904	41%	1,293	63	2,359	41%	1,051	64	545	37%	243	56
中部	1,164	16%	1,174	59	932	16%	940	59	232	16%	234	55
西部	3,084	43%	1,342	65	2,396	42%	1,043	63	687	47%	299	64
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資\_図表 31-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
鳥取県	993	0.7%	179	60	1,229	0.4%	222	47
東部	354	36%	158	56	475	39%	212	46
中部	191	19%	193	62	203	17%	205	45
西部	447	45%	195	62	551	45%	240	48
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資\_図表 31-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
鳥取県	82	0.5%	0.9	51	9	0.5%	0.1	51	73	0.5%	0.8	51
東部	27	33%	0.8	48	3	33%	0.1	49	24	33%	0.7	47
中部	11	13%	0.6	45	2	22%	0.1	52	10	14%	0.5	42
西部	44	54%	1.1	57	4	44%	0.1	51	39	53%	1.0	59
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

31.鳥取県(2022年版)

資\_図表 31-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
鳥取県	10,774	0.6%	116	62	6,601	0.6%	71	61	4,173	0.5%	45	52
東部	3,471	32%	98	50	2,451	37%	69	59	1,020	24%	29	41
中部	2,026	19%	111	59	1,265	19%	69	60	761	18%	42	50
西部	5,277	49%	134	74	2,885	44%	73	63	2,392	57%	61	64
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 31-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数				介護医療院定員数			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
鳥取県	3,175	0.9%	34	73	2,986	0.5%	32	50	86	0.3%	0.9	48	354	0.9%	3.8	55
東部	872	27%	25	58	1,274	43%	36	53	35	41%	1.0	49	270	76%	7.6	66
中部	801	25%	44	89	464	16%	25	43	0	0%	0	45	0	0%	0	44
西部	1,502	47%	38	80	1,248	42%	32	49	51	59%	1.3	50	84	24%	2.1	50
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資\_図表 31-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
鳥取県	457	0.2%	4.9	40	262	1.1%	2.8	57	1,386	0.7%	14.9	56
東部	86	19%	2.4	38	90	34%	2.5	56	324	23%	9.1	46
中部	0	0%	0	35	0	0%	0	44	486	35%	26.6	77
西部	371	81%	9.4	45	172	66%	4.4	65	576	42%	14.7	56
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(特定施設)			サ高住(非特定施設)							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
鳥取県	2,068	0.8%	22.2	61	132	0.4%	1.4	48	1,936	0.8%	20.8	62
東部	520	25%	14.6	50	30	23%	0.8	45	490	25%	13.8	51
中部	275	13%	15.1	50	0	0%	0	41	275	14%	15.1	53
西部	1,273	62%	32.4	75	102	77%	2.6	54	1,171	60%	29.8	75
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 31-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			訪問看護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
鳥取県	1,033	0.5%	11.1	54	693	0.6%	7.4	55	340	0.5%	3.6	50
東部	327	32%	9.2	46	219	32%	6.2	49	108	32%	3.0	45
中部	181	18%	9.9	49	132	19%	7.2	54	49	15%	2.7	42
西部	524	51%	13.3	64	342	49%	8.7	61	182	54%	4.6	57
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	介護施設等			在宅介護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
鳥取県	8,918	0.6%	96	60	8,092	0.6%	87	63	826	0.4%	8.9	43
東部	3,169	36%	89	54	2,901	36%	82	58	268	32%	7.5	41
中部	1,794	20%	98	61	1,692	21%	93	67	103	12%	5.6	37
西部	3,954	44%	101	63	3,499	43%	89	64	455	55%	11.6	49
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

31.鳥取県(2022年版)

資\_図表 31-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	75歳以上1,000人当り		偏差値*全国は標準偏差	訪問看護利用者数	75歳以上1,000人当り		偏差値*全国は標準偏差	訪問介護利用者数	75歳以上1,000人当り		偏差値*全国は標準偏差
		全国シェア	県内シェア			全国シェア	県内シェア			全国シェア	県内シェア	
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
鳥取県	7,970	0.5%	86	52	2,941	0.4%	32	47	3,597	0.3%	39	40
東部	2,689	34%	76	49	995	34%	28	44	1,369	38%	39	40
中部	1,206	15%	66	46	363	12%	20	38	547	15%	30	36
西部	4,075	51%	104	57	1,583	54%	40	53	1,681	47%	43	42
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの							

資\_図表 31-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減		
	数	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%	
鳥取県	46	7.6	51	43	7.8	53	-3	-7%	
東部	15	6.1	47	14	6.2	49	-1	-7%	
中部	11	9.7	57	10	10.1	59	-1	-9%	
西部	20	8.1	53	19	8.3	54	-1	-5%	
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月								

資\_図表 31-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減		
	数	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	増減数	増減率	
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%	
鳥取県	553	91	57	490	89	54	-63	-11%	
東部	213	86	55	184	82	50	-29	-14%	
中部	99	87	56	81	82	50	-18	-18%	
西部	241	98	61	225	98	59	-16	-7%	
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月								



資\_図表 31-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
鳥取県	1,709	282	58	1,904	344	54	195	11%
東部	539	218	51	609	271	47	70	13%
中部	217	192	48	272	274	47	55	25%
西部	953	387	71	1,023	445	64	70	7%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 31-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
鳥取県	10,410	171	55	8,811	159	56	-1,599	-15%
東部	4,042	163	54	3,495	156	55	-547	-14%
中部	1,836	162	54	1,548	156	56	-288	-16%
西部	4,532	184	58	3,768	164	57	-764	-17%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資\_図表 31-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
鳥取県	6,500	107	58	5,248	95	57	-1,252	-19%
東部	2,401	97	55	2,084	93	56	-317	-13%
中部	1,175	104	57	945	95	57	-230	-20%
西部	2,924	119	63	2,219	97	58	-705	-24%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

31.鳥取県(2022年版)

資\_図表 31-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差 (18)	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差 (9)	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
鳥取県	1,879	25	46	1,761	19	53	-118	-6%
東部	718	25	46	658	19	53	-60	-8%
中部	379	24	45	321	18	52	-58	-15%
西部	782	26	46	782	20	54	0	0%
出典	<療養病床数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年> 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

## 31-1. <sup>と う ぶ</sup> 東部医療圏

構成市区町村 [鳥取市](#) [岩美町](#) [若桜町](#) [智頭町](#)  
[八頭町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

**【地域の概要】**

\*人口、面積など： 東部(鳥取市)は、総人口約224千人(2020年)、面積1,518km<sup>2</sup>、人口密度は148人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2030年に207千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に177千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の36千人が、2030年にかけて44千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には42千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は398千円(偏差値56)、介護給付費は301千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

**【医療の現状】**

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の鳥取県立中央病院(特定群・救命)、1000例以上の鳥取赤十字病院(標準群)、500例以上の鳥取市立病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

**【介護施設や在宅ケアの現状】**

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,471人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,451床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,020床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,901人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設49、介護医療院66、有料老人ホーム38、軽費ホーム56、グループホーム46、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、268人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

## (東部医療圏) 2. 推移

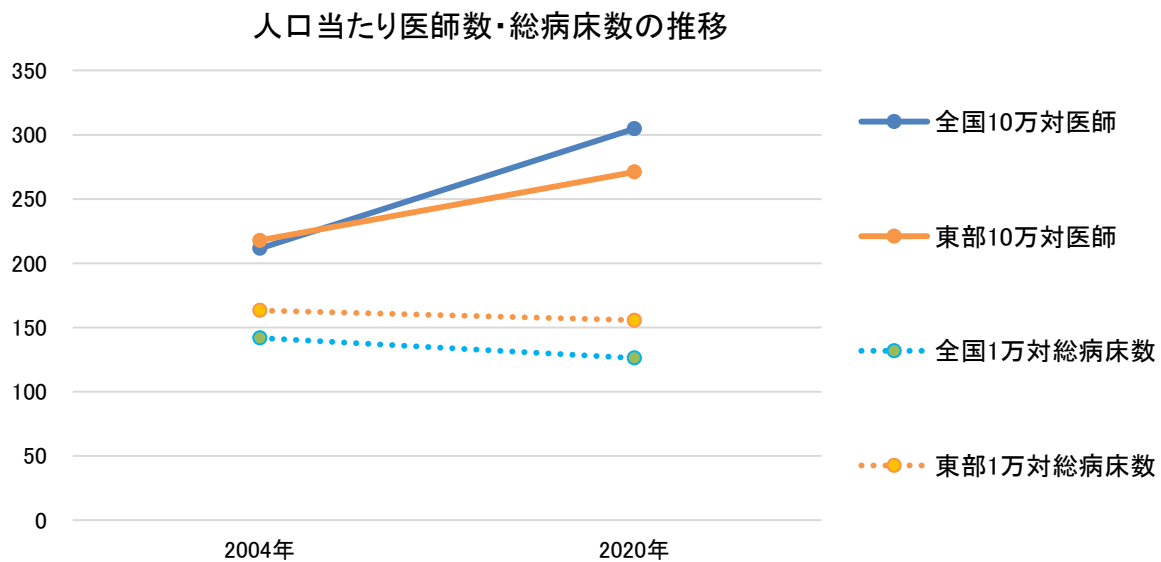
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は15(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2020年に14(人口10万人当たり6.2病院(全国平均6.5)偏差値49)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は213(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に184(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、29診療所が減少した。

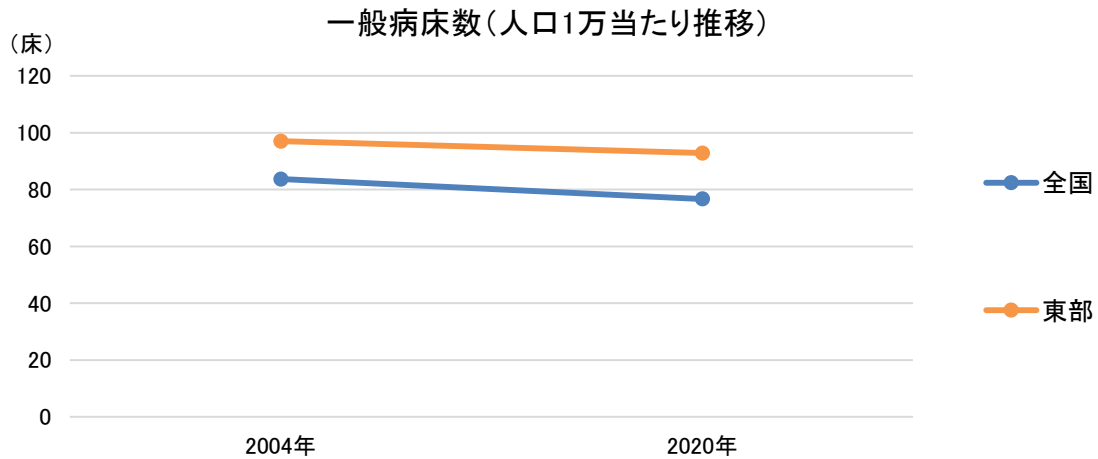
2004年の総病床数は4,042床(人口1万人当たり163(全国平均142)偏差値54)であったが、2020年に3,495床(人口1万人当たり156(全国平均126)偏差値55)と、547床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は539人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2020年に609人(人口10万人当たり271人(全国平均305人)偏差値47)と、70人の増加、率にして13%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



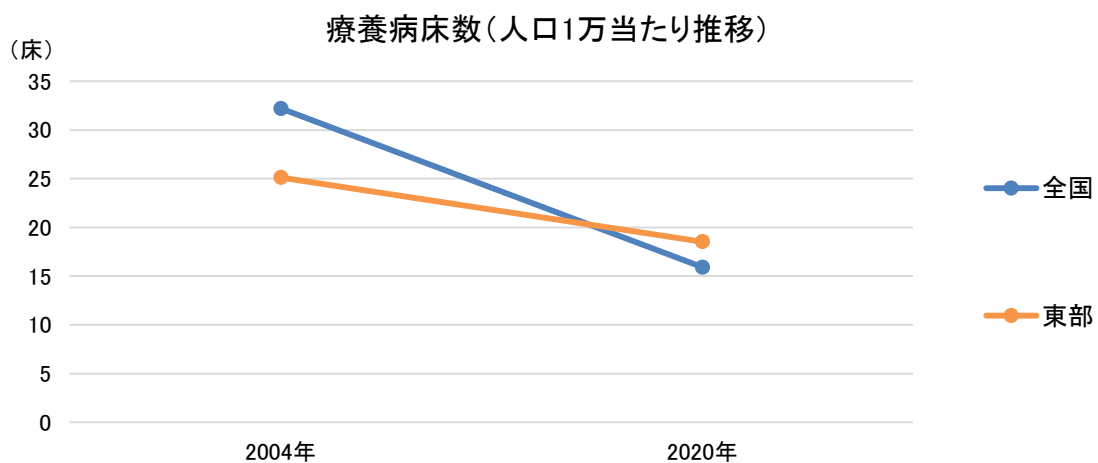
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,401床(人口1万人当たり97(全国平均84)偏差値55)であったが、2020年に2,084床(人口1万人当たり93(全国平均77)偏差値56)と、317床の減少、率にして13%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は718床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に658床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均16)偏差値53)と、60床の減少、率にして8%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 31-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村

[倉吉市](#)  
[北栄町](#)

[三朝町](#)

[湯梨浜町](#)

[琴浦町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中部(倉吉市)は、総人口約99千人(2020年)、面積780km<sup>2</sup>、人口密度は127人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中部の総人口は2030年に89千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に74千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の18千人が、2030年にかけて22千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には19千人へと減少する(2030年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は395千円(偏差値55)、介護給付費は299千円(偏差値61)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数48、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。中部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の鳥取県立厚生病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 療養士総数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値65と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,026人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,265床(偏差値60)、高齢者住宅等が761床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,692人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設89、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム77、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、103人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。



## (中部医療圏) 2. 推移

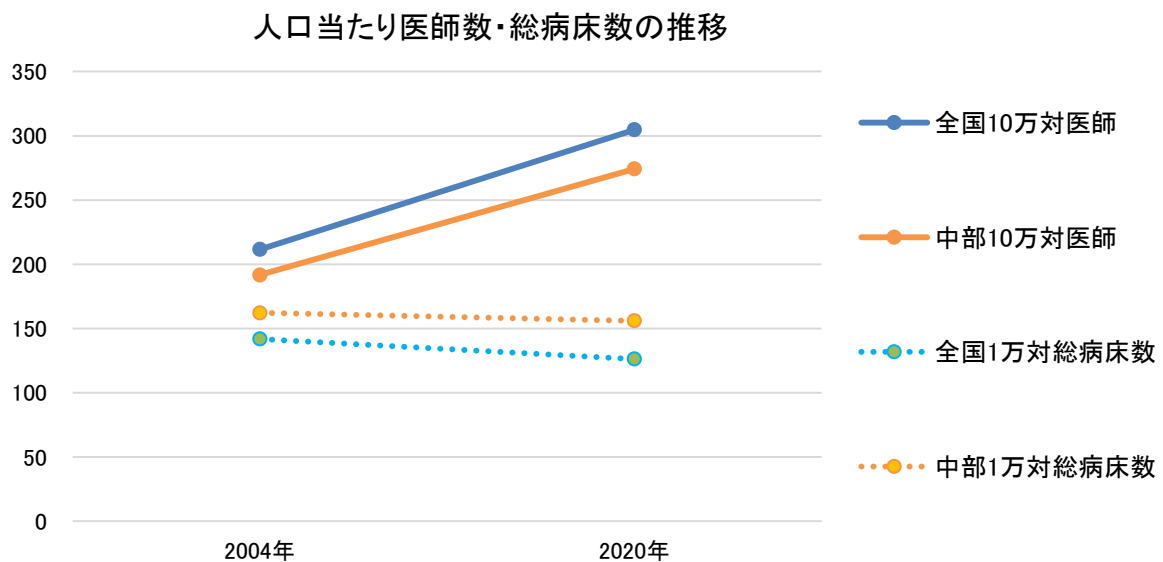
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は11(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2020年に10(人口10万人当たり10.1病院(全国平均6.5)偏差値59)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は99(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2020年に81(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、18診療所が減少した。

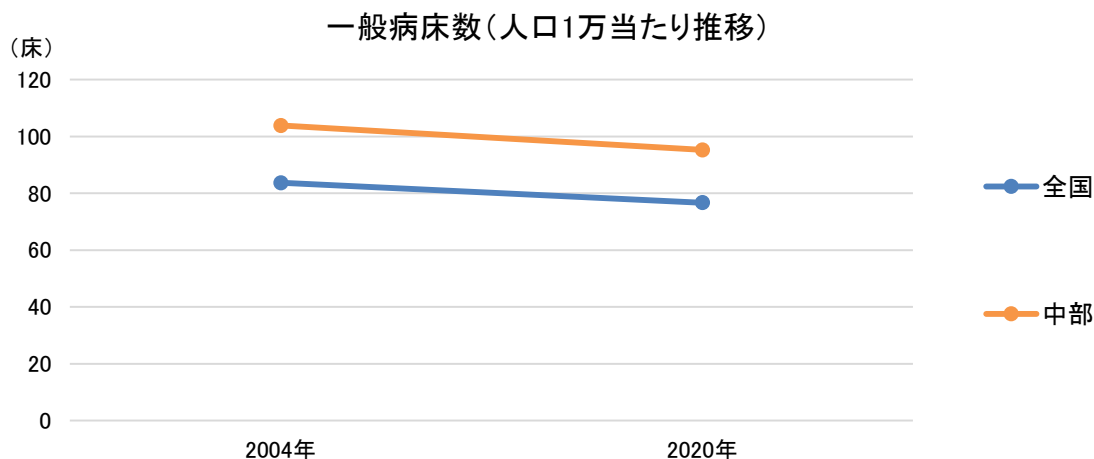
2004年の総病床数は1,836床(人口1万人当たり162(全国平均142)偏差値54)であったが、2020年に1,548床(人口1万人当たり156(全国平均126)偏差値56)と、288床の減少、率にして16%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は217人(人口10万人当たり192人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2020年に272人(人口10万人当たり274人(全国平均305人)偏差値47)と、55人の増加、率にして25%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



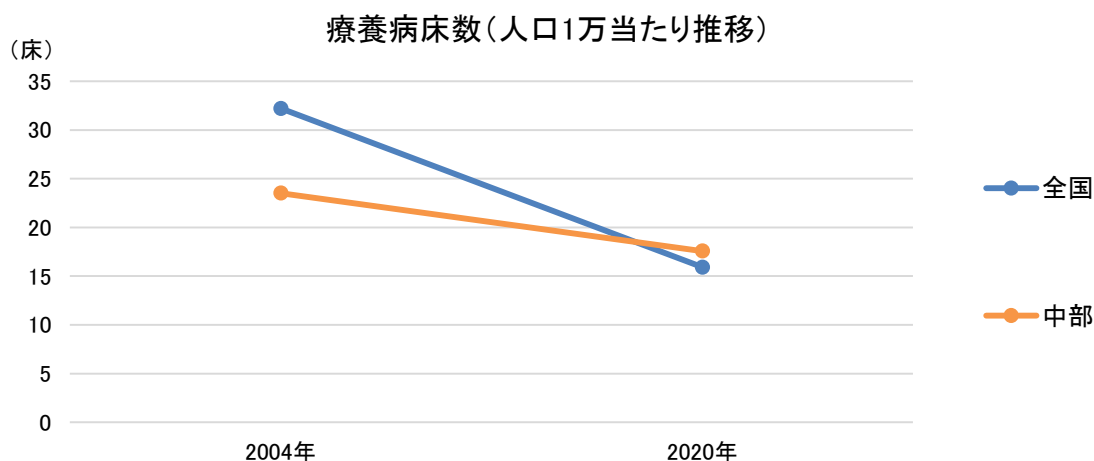
**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,175床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2020年に945床(人口1万人当たり95(全国平均77)偏差値57)と、230床の減少、率にして20%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は379床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2020年に321床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均16)偏差値52)と、58床の減少、率にして15%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



## 31-3. <sup>せ い ぶ</sup>西部医療圏

構成市区町村	<a href="#">米子市</a>	<a href="#">境港市</a>	<a href="#">日吉津村</a>	<a href="#">大山町</a>
	<a href="#">南部町</a>	<a href="#">伯耆町</a>	<a href="#">日南町</a>	<a href="#">日野町</a>
	<a href="#">江府町</a>			

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(米子市)は、総人口約230千人(2020年)、面積1,208km<sup>2</sup>、人口密度は190人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2030年に220千人へと減少し(2020年比-4%)、2045年に198千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の39千人が、2030年にかけて47千人へと増加し(2020年比+21%)、2045年には43千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は414千円(偏差値59)、介護給付費は303千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が64(病院医師数65、診療所医師数58)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は65と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は65と多い。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の鳥取大学医学部附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上のNHQ米子医療センター(標準群)、山陰労災病院(標準群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状：療法士総数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,277人(75歳以上1,000人当たりの偏差値74)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,885床(偏差値63)、高齢者住宅等が2,392床(偏差値64)である。介護保険施設、高齢者住宅等とも全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,499人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設80、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設50、介護医療院50、有料老人ホーム45、軽費ホーム65、グループホーム56、サ高住75である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、455人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

## (西部医療圏) 2. 推移

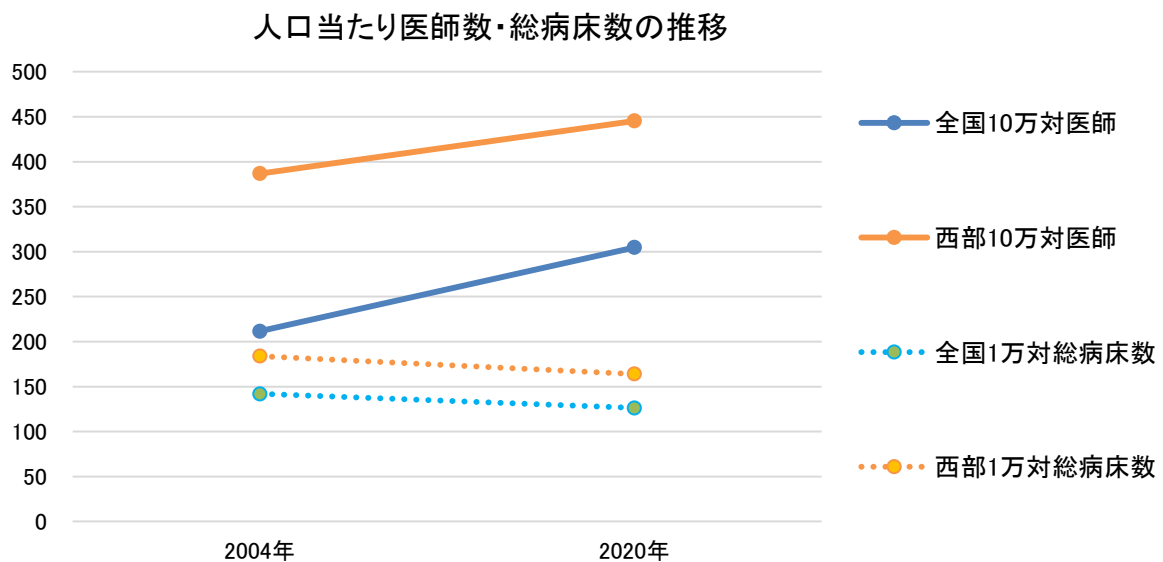
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は20(人口10万人当たり8.1病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2020年に19(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.5)偏差値54)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は241(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2020年に225(人口10万人当たり98診療所(全国平均81)偏差値59)と、16診療所が減少した。

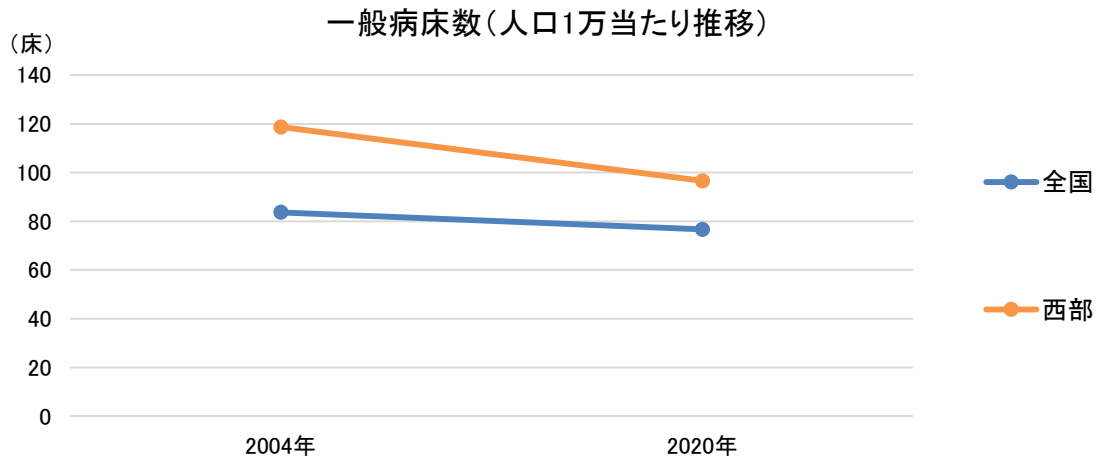
2004年の総病床数は4,532床(人口1万人当たり184(全国平均142)偏差値58)であったが、2020年に3,768床(人口1万人当たり164(全国平均126)偏差値57)と、764床の減少、率にして17%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は953人(人口10万人当たり387人(全国平均212人)偏差値71)であったが、2020年に1,023人(人口10万人当たり445人(全国平均305人)偏差値64)と、70人の増加、率にして7%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



**【一般病床の推移】**

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,924床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2020年に2,219床(人口1万人当たり97(全国平均77)偏差値58)と、705床の減少、率にして24%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



**【療養病床の推移】**

2004年の療養病床(病院+診療所)は782床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に782床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均16)偏差値54)と、増減がなかった(全国平均21%の減少)。

